

生野町散策ガイドMAP

兵庫県のほぼ中央に位置し、古くから但馬の玄関口として栄えた生野。
日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」は生野銀山より始まります。
国の重要文化的景観の町並みとともに鉱山町を散策ください。
自然あふれる生野には黒川溪谷や銀山湖など美しい風景があり、
キャンプや川遊び、ゴルフや登山などアウトドアも楽しめます。

町名由来

生野町 (いくの)

『播磨國風土記』によると「生野」という土地には昔から荒ぶる神がいて、往来する人間の半分を殺すので「死野」と呼ばれていましたが、応神天皇がこれは悪名だからと「生野」と変えたと記されています。

春

桜(町内4月初旬・栃原/黒川4月下旬) 山桜(4月中旬~下旬)
ヒカゲツツジ(4月上旬~中旬)・ミツマタ(3月)

夏

ホタル(魚ヶ滝上流6月下旬~7月中旬・黒川7月上旬~下旬)
ヒメボタル(7月上旬~中旬)・川遊び(魚ヶ滝周辺8月)
アマゴ釣り(3月~9月) アユ釣り(7月1日~)

秋

紅葉(黒川溪谷11月上旬~下旬・銀山湖11月中旬~下旬)

冬

ワカサギ釣り(ドーム12月~4月上旬まで)
雪遊び(黒川周辺1月~3月・魚ヶ滝周辺1月~2月)

銀谷のひな祭り(3月3日前後)
へいくろう祭り(4月中旬)
銀谷のわらべ(5月5日前後)
銀谷の七夕(7月7日前後)
生野夏物語(8月13日~15日)
銀谷祭り(9月下旬)
生野秋祭り(10月第二日曜日)
生野イルミネーション(12月下旬~1月上旬)
もち花作り(12月下旬)

各種祭りやイベント開催は中止の場合もあります





バス釣り 4月～12月頃まで
約 12月～4月頃まで

生野駅より4km
車で約9分

▲金香瀬山 (710m)

史跡 生野銀山
細工体験工房 Marie
シルバーアクセサリー手作り体験)



生野町の文化財

市指定文化財(奥銀谷地域・黒川周辺)

- ① 生野鉾山正門門柱(生野銀山)
- ② 金香瀬坑口(生野銀山)
- ③ 露天掘り跡
- ④ 断層と鉱脈
- ⑤ 浄願寺の山門(奥銀谷)
- ⑥ 大用寺 十六羅漢(新町)
- ⑦ 大明寺 方丈・庫裡・開山堂(黒川)



春と秋が特にお薦め♪

国道429号の銀山湖周遊道路や
黒川渓谷沿いの道はサイクリング
やツーリングにお薦めのコースです



生野歴史女子的 お薦めスポット♪

歴史景観スポット (黒川・白口方面)

① 平家坂・平家塚 ⑦ 平家谷

その昔、平家の落人が住み着いたが、流行病で
集落の全員が死に絶えたと伝えられています。
塚のそばにある榎(えのき)の根元から、錆びた刀
剣類が大量に出土しました。

② 屏風神社

祭神は少比古名命(すくなひこなのみこと)。
そそり立つ屏風のような一枚岩がご神体です。
昔、下流域で疫病が流行し多くの死者が出たが、
この岩より上流の集落には害がなかったことから、
病気の神様として祀られています。

③ 嵌入(かんにゅう)蛇行の曲がりくねった川

穿入(せんにゅう)蛇行とも呼ばれます。
岩盤が固く水の流れを蛇行させながら曲がりく
ねた川となり、下流に流れたものが上流に向
かって流れを変えていく様子が見られます。
屏風神社の横の国道から見下ろすと、左右に
上流と下流に流れる2本の川が見えるが、実は
一本の繋がった川です。

④ 直谷 (なおだに) 不動の滝

高さ20m。滝つぼ周辺に甕穴(おうけつ)があり
ます。そばに不動尊が安置され、かつて簾野
(すだれの)と魚ヶ滝の集落が守り神として祭礼を
行っていました。直谷渓谷登山道沿いにあります。

⑤ 乙女の滝

白口村に入る手前にあり、風光明媚な滝で、
道路から見下ろすことができます。

⑥ 白綾の滝

白口本谷にある名勝。落差30m。白綾の名にふ
さわしい優美な流れで、四季折々に美しい姿を
見せています。厳冬期には滝が凍る様を見る事
ができます。

お食事・宿泊施設・その他

黒川自然公園センター(喫茶・魚釣り)
TEL: 079-679-3330(冬期休館)

黒川温泉 美人の湯(日帰り温泉・お食事・休憩)
TEL: 079-679-2067
水曜定休 11:00~20:00(冬期19:00まで)
食堂営業 平日15:00まで 土日祝17:00まで
各種定食・うどん・おでん・生野ハヤシライス

やまびこ山荘(お食事・宿泊)
TEL: 079-679-2908(要予約)
川魚料理・山菜・ぼたん鍋・松茸料理

そらしーど(カフェ)
TEL: 080-9540-4638
営業時間: 水曜11:00~17:00
金曜、土曜11:00~20:00
カフェ・地元野菜料理・沖縄料理・スイーツ

農家民宿まるつね(宿泊・休憩・不定喫茶)
TEL: 080-3804-9622(要予約)
<https://marutsune.biz>

日本ハンザキ研究所(オオサンショウウオ研究所)
HP: <http://www.hanzuki.net>
公開見学日あり(要予約)

民宿せせらぎ荘(宿泊)
TEL: 090-8799-1044

魚ヶ滝キャンプ場(銀谷観光)
TEL: 079-679-4334
オートキャンプ場・BBQ場(要予約)

銀山湖 レンタルボート湖畔(バス釣り・ワカサギ釣り)
TEL: 079-679-2852
季節により喫茶営業あり

歴史女子的 お薦め散策ルート♪

- ⑩ 銀の馬車道
- ⑪ 鉾石の道
- ⑫ 徳川時代初期の主要道路
- ⑬ 生野公園遊歩道

生野歴史エリア♪

- 旧生野代官所跡
- 旧生野(平)城跡

お散歩スポット

寺町通り散策
カラミ石を使った
塀や階段が見事な
風景を演出!



生野まちづくり工房「井筒屋」



生野銀山に代官所があった時代に建てられた郷宿。母屋の建築は1832年。邸内では古民家喫茶があり、生野紅茶や手作りクッキーでおもてなし。手作りオオサンショウウオ(あんこう)グッズも大人気です。

口銀谷銀山町ミュージアムセンター(旧浅田邸)



昭和初期の和風建築と、大正期のタイル張り洋館が独特の雰囲気を出し、東側の建物は播磨鉄道の祖である浅田家の分家として、西側の町屋は吉川家の分家として建てられました。

旧生野鉾山職員宿舎・志村喬記念館(甲社宅)



官営生野鉾山に勤務した日本人官吏のための和風建築の官舎で4棟が現存。このうち3棟は明治9年に建てられました。日本で最初の社宅ではないかと推定されています。

生野書院



材木商の邸宅(大正期)を改修した建物で、入口の正門は、かつての鉾山長社宅から移設されたものです。生野銀山が古くから栄えたことを伝える資料を展示しています。

生野町の主な文化財(建造物他)

国の選定文化財(2014.3.18選定)
生野鉾山及び鉾山町の文化的景観

国の登録文化財

- A 今井家住宅
- B 佐藤家住宅別邸
- C 桑田家住宅
- D 松本家住宅母屋
- E 旧吉川家住宅(生野まちづくり工房井筒屋)
- F 旧海崎医院
- G 日下旅館
- H 綾部家住宅

県指定文化財

- I 金蔵寺銅鐘
- J 延応寺大ケヤキ

県登録文化財

- K 東西寺
- L 大蔵神社

市指定文化財(口銀谷周辺)

- a 生野城跡
- b 當麻曼茶羅(来迎寺)
- c 家康の尊像と歴代將軍の位牌(東西寺)
- d 旧生野警察署(1区公民館)
- e 生野義拳碑
- f 甲7・8・9・19号社宅および土塀、カラミ土塀(甲社宅)
- g 恩賜記念碑(山神宮入口付近)
- h 摩崖仏(山神宮奥裏山付近)
- i 浅田貞次郎銅像(姫宮公園)
- j 延応寺
- k 第八代酒井奉行の墓所(延応寺)

市指定文化財(奥方面)

- l 大用寺十六羅漢
- m 浄願寺山門
- n 生野鉾山正門門柱(生野銀山)
- o 金香抗口
- p 露天掘り跡
- q 断層と鉾脈

近代化産業遺産
★生野鉾山関
★鷹ノ巣ダム
★トロッコ道(奥)
★甲5・6号社宅

口銀谷地域歴史スポット

①芭蕉塚(延応寺)

昭和30年(1955)1月延応寺金比羅神社参道にあった芭蕉翁碑跡を採掘したところ、丹後焼の壺と楽焼の鉢が出土した。中身は260年の歳月を経ているため土でした。碑面から芭蕉の遺品か何か埋められていたと推測されるが、寺の火災等で文献は焼失し詳細は不明。碑の裏面に「元禄甲戌(1694)10月12日」と刻んであります。これは芭蕉の没年と合致することから死後まもなく地域の俳句をする方々が追悼として建てたものではないかと思われます。

②徳川時代初期の道

生野鉾山を守るため、直線の道ではなく曲がった道になっています。

③播磨口番所

生野町の出入りの要所、27ヶ所に設けられた小規模の関所を番所と言い、その中で最も重要な関所でした。朝明六つ(6時)~夜四つ(22時)の間開き、銀山の警備と金・銀・銅・鉛白等を厳重に取り締まり、物資に税をかけた人々の出入りにも目を光らせて怪しい者を通しませんでした。

④東照寺跡

⑤代官墓所

⑥一里塚跡

江戸時代に生野代官所により、関宮町中瀬と青垣町遠阪までの間に、1里(約4Km)ごとに設置されましたが、跡としてはっきり残っているのはこの場所です。一里塚の横に溝が流れている両国川と泉谷川が、但馬国と播磨国の国境でした。またこの両国川はもとは生野城の外堀と見られることから、この地が城下町であったことを示すものとなります。

⑦生野城下町の特徴「鍵の手」の道

敵の攻撃を防ぎ大人数で進行できないように道幅を狭くし、道路を屈曲させるかぎ型の道です。昔の土蔵などの錠前を開ける鍵の形に似ているので「かぎの手」と呼ばれています。城下町に見られる典型的な道です。

⑧生野クラブ

明治19年鉾山師松本林右衛門氏が新築が鉾山視察の折、宿泊されました。陸軍中將・伯爵・山田顕義氏が

⑨トロッコ軌道跡

かつては軌道が敷かれ、生野鉾山で軌道跡やモダンな石積みが印象的の

⑩生野鉾山寮馬車道(銀の馬車道)

明治9年完成。レオン・シスレー総監の技法を取り入れた。この道路を利用

⑪鉾石の道

生野鉾山・神子畑・明延を結ぶ道路

⑫生野公園遊歩道 夏の散策には最

⑬旧生野警察署(一區公民館)

お雇い外国人から西洋の技術を学ん

⑭生野義拳碑

文久3年(1863)10月の生野義拳(跡地に碑が建立されました。生野義拳は明治維新の魁となつた事件ですが、わずか3日で破陣となつたこの生野義拳は明治維新の魁となつた

☆緩石(カラミ石)

鉾山の精錬くずを固めたもの。現代のリサイクル品と同じと考えられる。生野町中いたるところで見ることが出来ます。(主に塀・階段・井戸・土台等)



☆生野瓦

寒暖の差が激しい生野町では、割れないように焼付温度が高温であること、又釉薬に鉾津が使われた事等から独特の色合い(ベンガラ色)の瓦を使用。現在も古民家では、生野瓦が屋根に葺かれています。



お食事・お休み処

生野銀山内 レストランマロニエ

TEL : 079-679-2610

11:00~15:00

月曜、火曜定休(8月は火曜のみ定休)

定食・うどん・そば・スイーツ

生野ハヤシライス

かながせの郷 喫茶だんらん

TEL : 079-679-4131

10:00~15:00 水曜、金曜のみ営業

喫茶・軽食・地元農産物

Tea room kotori(ティールームコトリ)

TEL : 090-6378-5282

営業時間・定休日はお問い合わせください

町屋カフェ 和ゆき

TEL : 079-679-4659

11:00~17:00

日曜、月曜、火曜定休

カフェ・創作料理・スイーツ



内山寺跡

熊野神社

本源寺 庫裏の裏に旧杭が見られる

大野町

小野町

銀細工体験工房 Marie

TEL : 090-6986-7376

(シルバーアクセサリー)

(要予約)

レストラン

マロニエ

史跡 生野銀山

TEL : 079-679-2010

定休日: 営業時間は

HPで確認ください

町屋カフェ 和ゆき

朝来稲荷神社

思い出の記録博物館

TEL : 090-9155-8386

9:00~17:50 不定休

(おもちゃ・漫画本・

キャラクターグッズなど展示)



シルバーいつくんの
看板が目印!

絶景!



稲荷神社



旧銀飛脚屋
(現ふれあいセンター)

大用寺

十六羅漢石仏

立松和平氏母方の祖墓碑

かながせの郷

喫茶だんらん

唯念寺

毘沙門天

本来寺

新町

新町派出所

★トロッコ軌道跡(奥銀谷)

朝来市トロッコ道が

見える公園

市川

館跡

アニエ公園

新町河川公園

三菱マテリアル(株)

明石製作所生野加工センター

お散歩スポット

鉾山の町を

ふらっと散歩

市川の対岸に

トロッコ道の跡が

見える

緑珠(旧坑道)

絶景!

旧町名ご紹介(江戸時代)

鉾師町(いもじまち)・・新町の下筋の一部。

鉾業関係に因るものであろう。

塩野町(庄野町)・・奥銀谷の一部で上町と下町の間。

由来は硫酸銀を塩と反応させる工程を行っていたため塩という町名が付いた。

新町・・発生の年代が新しいため名付けられた。

銀山旧記によると「1582年未だ人家あらず」が「1600年奥銀屋町、新町に人家出来次第に繁昌し恰も洛中の如し」の記載あり。わずか18年で驚異的發展ぶりが伺える。

大野町・・銀山の大山師大野氏の邸宅跡で、明治初年よりの俗称。

小野町(このまち)・・現小野の南半分、昔滑(なめら)と称した地域。滑とはなめらかな土地の意味

奥銀谷地域歴史スポット

①大用寺

奥山神社で祀られていた十六羅漢を明治25年4月に奥山神社が口銀谷の愛宕に遷宮し廃寺になったため、大用寺に遷されました。

又作家立松和平氏が曾祖父(片山氏)をモデルにした小説「恩龍の谷」を執筆したのは当寺に片山家の墓碑が残っていたのをお知りになったためです。

③異人館跡(現コアニエ公園・市川新町河川公園)

明治5年に異人館1~5号館が建されていた場所。生野鉾山のフランス人技師たちが約10年間居住した後に取り壊され、現在は河川公園として町民の憩いの場所になっています。

④旧井筒屋(銀飛脚屋): 現ふれあいセンター

旧木南家(井筒屋)が居住し銀飛脚(おかねひきやく)をしており、当時お銀登りと言って生野銀山内で精錬した銀・銅・鉛を大阪の銀座、銅座に運んだりお年貢の金を大阪に納めに運んだりしました。

⑤亀石

護岸のための小規模な横堤。形が亀の甲羅に似ているため亀石と呼ばれています。

歴史文責: 杉浦健夫

町名由来

口銀谷(くちがなや)・奥銀谷(おくがなや)

銀谷(かなや)は、銀屋すなわち銀銅を採掘し又精錬する家で、鉾山業者の町の意味です。口銀谷は、役人や商人の住む商業の町でした。また過去において城下町ともいうべき地方官庁の所在地にもなっていました。それに対して、奥銀谷は実際に採掘などに従事した人が多く住んでいた為、鉾山の町と言われていました。

明治21年春、有栖川宮熈仁親王殿下(皇女和宮の元婚約者)治25年日本大学と国学院大学の学祖・参議・初代司法大臣・鉾山で逝去された際、ここに安置された逆の間があります。

出された鉾石を載せたトロッコが走っていました。アーチ状の生野城を取り壊した時の石垣を河川の護岸に利用したとも。

昔の元作られた日本初の高速道路。最新技術のマクアダム式道路として生野から姫路まで鉾石を運搬しました。

地元の大工が、明治19年に左右対称の擬洋風建築を建設しました。

「野の変」の事跡を後世に伝えるため、昭和15年(1940)に代官所は、勤王の志士と但馬の農民が一緒になって生野代官所を占拠し、明治の世まで生き延びた者は数人でした。と言われています。